

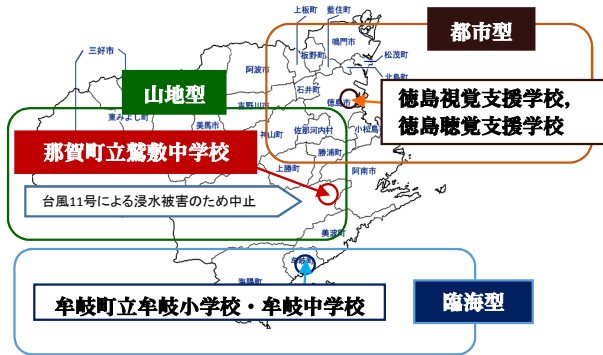
体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

地域の絆ですすめる防災生涯学習キャンププロジェクト

徳島県教育委員会

【事業のポイント】

- 学校・家庭・地域の連携を図り、地域の絆を深め、その絆のもと学校防災教育を地域防災教育につなげる。
- 「地域の子供たちの命は地域で守る」「地域の命を地域で守る」生涯にわたる防災・減災学習プログラムの確立を図る。
- 学校防災教育の学習成果を発展させ、将来、地域防災において中心的な役割を果たす青少年を学校・家庭・地域の連携による防災生涯学習の取組の中で育成する。



1. 企画

(1) 事業実施の背景

未曾有の甚大な被害をもたらした、平成23年3月11日の東日本大震災発災以降、徳島県では「学校防災管理マニュアル」改定に着手し、これまでの「管理マニュアル」を大幅に見直した「暫定版」を平成23年12月に作成し、平成24年8月の内閣府による「南海トラフ巨大地震に関する津波高、想定浸水区域、被害想定」の公表後は、平成24年10月徳島県の最終的な津波浸水被害のとりまとめを公表し、平成25年「暫定版」を改定した。そして、防災教育、すなわち「命を守る教育」として、「防災教育推進モデル校」、高校における「防災クラブ」設置、小・中学校施設の耐震化推進、県立学校施設の計画的な耐震化と拠点避難所となる県立学校の避難所機能の整備充実等に取り組んでいる。

また、南海トラフの巨大地震に備え、県民がいつでも、どこでも、そして、生涯にわたって防災について学ぶ、学べる防災生涯学習環境づくりによる防災・減災の三助（自助・共助・公助）意識のさらなる醸成や、学校・家庭・地域の連携支援スペシャリスト等による学校・家庭・地域の連携による防災・減災の取組をすすめている。

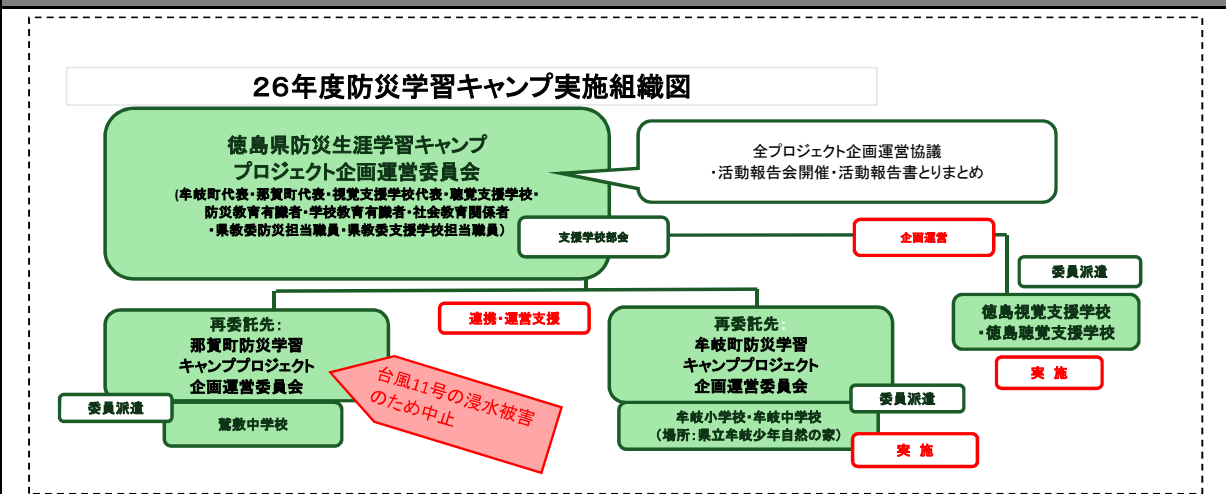
(2) ねらい

被害想定死者3万1千人と発表された南海トラフの巨大地震の発生確率が高まる中、自助・共助の重要性、地域一人ひとりの防災意識の向上、生涯にわたる防災学習の展開が防災・減災上の喫緊の課題となっている。学校・家庭・地域の連携を図り、地域の絆のもと学校防災教育を地域防災につなげる取組が必要である。

徳島県教育委員会では本事業において、「地域の子供たちの命は地域で守る」「地域の命を地域で守る」をスローガンに、地域に立脚した生涯にわたる防災・減災学習プログラムの確立を図る。防災学習キャンプの実施、フォーラム開催を軸に、将来、地域防災において中心的な役割を果たす青少年を学校・家庭・地域の連携による防災生涯学習の取組の中で育成する。

2. 事業概要

(1) 運営体制

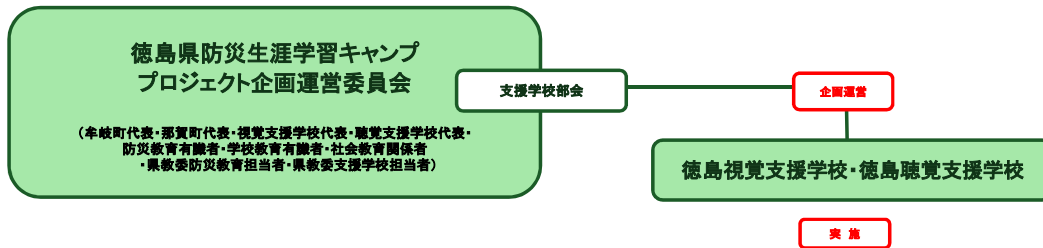


(2) 開催実績

月 日	内 容
7月7日	那賀町防災学習キャンププロジェクト第1回企画運営委員会
7月9日	徳島県防災生涯学習キャンププロジェクト第1回企画運営委員会立ち上げ
8月19日～20日	那賀町防災学習キャンプ(中止)
8月25日～26日	徳島県立徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校防災学習キャンプ
10月24日～25日	牟岐町防災学習キャンプ
11月7日	徳島県防災生涯学習キャンププロジェクト第2回企画運営委員会
12月20日	徳島県防災生涯学習キャンププロジェクト活動報告会
2月2日	徳島県防災生涯学習キャンププロジェクト第3回企画運営委員会

3. 防災キャンプ実施概要

(1) 運営体制



(2) 実施内容

徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校防災学習キャンプ

2014. 8. 25(月)～8. 26(火)

活動趣旨

平成26年4月に徳島県立盲学校と徳島県立聾学校在り、同じ敷地内に
新しい学校としてスタートした。視覚障がい者と聴覚障がい者が共に学ぶ必要があり、
新しい地域住民の協力を得ながら、災害時に避難体制を確立する必要がある。
そこで、防災学習キャンプを実施することにより、都市型地震津波災害
を想定した避難所生活と地域住民と体験する中で、災害時における障がい
に対する理解を深めると共に、防災・減災の課題について共通理解を図るもの
である。



徳島県立徳島視覚支援学校
・徳島聴覚支援学校

スケジュール

8月25日(月) < 1日目 >

- 13:30～14:20 開会行事・オリエンテーション
- 14:25～14:45 防災訓練Ⅰ(避難訓練)
- 15:00～15:20 炊き出し準備
- 15:25～16:30 防災訓練Ⅱ(避難所設置)
- 16:30～18:00 防災訓練Ⅲ(非常食調理体験)
- 18:00～19:00 夕食・片付け
- 19:00～21:00 防災訓練Ⅳ(夜間移動訓練)
- 21:00～ 就寝

8月26日(火) < 2日目 >

- 7:00 朝の集い
 - 7:30～ 8:30 防災訓練Ⅴ(非常食を想定した朝食)
 - 9:00～10:00 防災訓練Ⅵ(防災講演)
- 演題
「東日本大震災のボランティアに参加して」
講師：みなと高等学園 教諭 宮本宏之 さん
阿南支援学校 教諭 嵩原真司 さん

オリエンテーション



防災訓練Ⅰ(避難訓練)



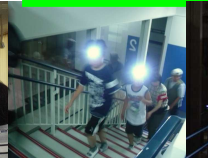
防災訓練Ⅱ (避難所設置)



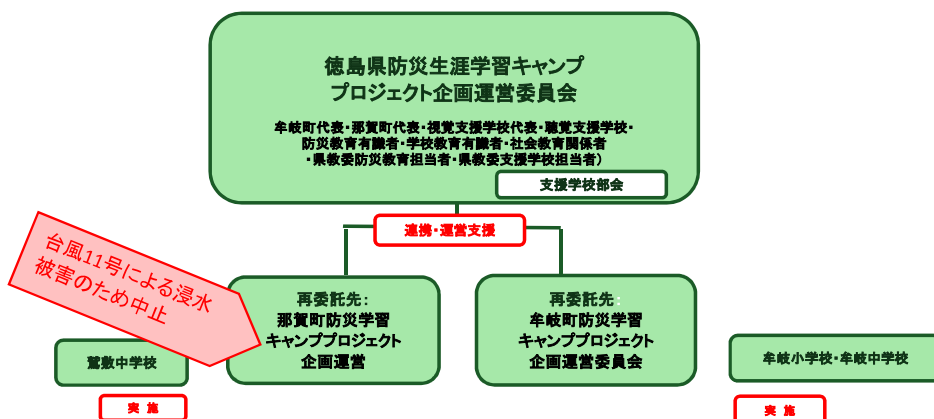
防災訓練Ⅵ (防災講演)



防災訓練Ⅳ(夜間移動訓練)



(1) 運営体制



(2)実施内容

牟岐町防災学習キャンプ (徳島県立牟岐少年自然の家) 2014.10.24(金)～10.25(土)

活動趣旨

平成25年6月、牟岐町においては、県内初となる牟岐町自主防災連絡協議会、指定管理者、県教育委員会の4者による防災協定（「牟岐少年自然の家避難所等施設利用に関する協定」）を締結した。今回、牟岐町委託の防災学習キャンプを実施し、4者協定に基づく役割分担を検証することにより、避難所運営のあり方等の確立を図ることとした。

本キャンプでは、「守る・逃げる・生きる」の避難3原則に基づき、地震・津波による避難所生活を想定した体験活動を通して、子供たち一人一人の自助・共助意識を高めるとともに、たくましく生きる力を養うものである。

【育てたい力】

- ①防災・減災の知識・・・被災体験フィールドワーク、被災地体験報告
- ②生き抜くための技能・・・段ボールでの居住スペース、寝床の確保、非常食の調理等
- ③自助・共助の意欲・関心・・・避難所での自分たちの役割について話し合う



活動① (避難所設営)



スケジュール

10月24日(金) < 1日目 >

- 13:45 牟岐少年自然の家 集合
14:00～14:30 開会式・オリエンテーション
14:30～16:30 活動① 避難所設営
16:30～19:30 活動② 野外炊事(1)メニュー作りと調理
19:30～20:45 活動③ 防災学習 東日本大震災の被災地体験の話(20:15) 話し合い活動
20:45～21:15 活動④ 暗さの体験 30分間、暗い体育館で過ごす。
21:15～22:00 就寝準備
22:00 就寝
10月25日(土) < 2日目 >
6:30 起床
7:00～ 8:00 朝食 非常食(缶パン、スープ等)
8:00～ 9:15 活動⑤ SOSサイン作り
9:15～10:45 活動⑥ フィールドワーク・被災体験を聞く
10:45～12:30 活動⑦ 防災キャンプのまとめ (11:45) 各班の発表
12:30～13:00 避難所の片付け、清掃

活動⑤ SOSサイン作り



活動⑥ フィールドワーク・被災体験を聞く



活動⑦

4. 普及啓発の実施概要

防災学習キャンプ活動報告会～地域の絆ですすめる防災生涯学習キャンププロジェクトフォーラム～

- ・開催日時 平成26年12月20日(土) 午後1時から午後4時まで
- ・開催会場 阿南市立富岡公民館 大ホール
- ・日程
12:30～ 受付
13:00～ 開会 開会あいさつ
徳島県教育委員会あいさつ
体験活動推進プロジェクト「防災キャンプ推進事業」
「地域の絆ですすめる防災生涯学習キャンププロジェクト」概要説明
13:10～ 基調講演「学校・家庭・地域の連携ですすめる防災」
鳴門教育大学大学院教授 阪根 健二 さん
14:20～ パネルディスカッションテーマ
「防災学習キャンプを通して育む子供たちと地域の絆」
コーディネーター 阪根 健二 さん(鳴門教育大学大学院教授)
パネラー 西山 賢一 さん(徳島大学大学院准教授)
木村 功 さん(牟岐町教育委員会)
榎 浩一 さん(徳島県立徳島聴覚支援学校教頭)
15:50～ 閉会あいさつ
16:00 閉会

・その他

※会場に各防災キャンプ活動時に使用したグッズ等の展示コーナーを設置します。

3. 成果と課題

(1) 事業成果

徳島県立徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校防災学習キャンプ【成果】

- ・ 防災学習キャンプを契機として、地域の方々が文化祭等の学校行事に参加するなど、地域の方々と両校の子供たちとのふれあいや障がいの理解、また、地域防災施設としての認知が進んだ。
- ・ 防災学習キャンプで頂いた地域の方々と意見を反映し、屋上までの誘導版や危険箇所の表示板を作成し、より地域の方々が避難しやすい施設として整備できた。

牟岐町防災学習キャンプ【成果】

- ・ 自主防災、婦人会の方々とコミュニケーションをとる大切さを学び、みんなで何をするか考えて取り組むことができた。
- ・ 避難所設営や宿泊を伴った避難所での集団生活においても、みんなで協力する大切さを学ぶことができた。
- ・ 暗さ体験を通して、昼間とは違う病弱者等の要援護者が避難所で生活することの難しさを理解することができた。

(2) 事業運営上の課題・留意点

徳島県立徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校防災学習キャンプ【課題】

- ・ 今後、発災した際に、幼児児童生徒が主体的に活動できるようにどのような取組を行うか。
- ・ 発災時に混乱している状況で、障がいのある子供たちへのコミュニケーション支援をどのように行うか。
- ・ 防災学習キャンプで得た地域とのつながりをどのように強化していくか。

牟岐町防災学習キャンプ【課題】

- ・ 少子高齢化が加速する中、宿泊を伴う防災学習キャンプ等において、高齢者等の災害弱者の避難所生活を想定し、これまで以上に学校・家庭・地域が連携した防災訓練を計画することが必要である。

防災学習キャンプ活動報告会【アンケートより】

- ・ 「体験してみないと、再現イメージが教員には分からなかった。」と報告者からの発表があった。パネラーの報告から、視覚支援学校・聴覚支援学校の報告だけではなく、他の教育機関や児童福祉施設、自治体や自主防災の方々が防災活動を行うときにも子供たちの目線に合わせる大切だと感じた。
- ・ 備蓄だけでなく、日頃から顔の見える関係、つながり作りを心がける、ボランティアに参加する等の大切さが分かった。

(3) その他

活動報告会では、子供たちが日常とは異なる体育館等での寝泊まりを含む様々な体験活動を通して、地域防災におけるリーダー意識などの防災に対する心構えや防災の技術を身に付け、少し自信を付けた様子や、地域の方々と連携した取組によって、地域の方々とよく知るきっかけとなったことなどが報告された。

また、地域と連携した防災キャンプの取組の中で見えてきた、学校と地域の防災の取組を継続させるためのキーパーソンの役割や、より多くの地域住民と同様の取組をする際や要援護者支援の留意点など、次のステップに向けての課題も出された。地域と連携した防災教育を推進する上で、こうした課題を見つけ、次のステップに進むことが大切であることを改めて認識した。

4. 団体プロフィール

徳島県教育委員会生涯学習政策課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
電話番号 088-621-3148
ファクシミリ 088-621-2884



牟岐町防災学習キャンププロジェクト